JA共済杯第28回日本リトルシニア全国選抜大会

世田谷西 3度目V 4年ぶり

決勝で快勝し、4年ぶり3度目の優勝を飾った世田谷西

日本リトルシニア 中学硬式野球協会 関東連盟
50th Anniversary
シニア情報

◇3月26日～4月1日 信用金庫アイシス杯争奪 関東シニア選抜大会（大阪ほか）

関東連盟4チームが8強

世田谷西が「春の王者」に勝の奈良西戦。2回に4番渡ふさわしい戦いを演じた。決一遊颯人の中前打、6番曽宮藤雄の左前打でチャンスを作り、1死満塁から8番城大翔の右前打で2点を先制。続く2死一、二塁で1番佐々木芽一の左前打、2番國光翔の右越え三塁打で3点を加えて5点リードした。投げては先発東川一真が5回を1失点、市磯輝大、青山千晃、新谷雄三と好継投。大会最多タイの3度目の優勝を手にした。

初戦の2回戦では五條（関西）に初回9点を奪われながら、11―10で逆転した。吉田昌弘監督は「力はあるのですが、試合が上手じゃない。これで30試合分ぐらいの野球経験をした」。3回戦で武蔵府中を東川が完封、準々決勝では千葉市を、準決勝では前年優勝、昨秋の関東大会を制した取手を退けた。中尾隆太主将は「試合を重ねるごとに全員が成長できた大会になりました。どの試合も最後まで集中力を切らさずに戦えた。夏に向けて、油断せず、1つ1つの試合を大切に戦いたい」と話した。吉田監督は「初戦の五條戦で一気にチームがまとまった。本番に弱い選手が多かったのですが、精神的にもたくましく成長した」と選手をたたえた。

2回8番城が先制2点打

雄の左前打でチャンスを作り、1死満塁から8番城大翔の右前打で2点を先制。続く2死一、二塁で1番佐々木芽一の左前打、2番國光翔の右越え三塁打で3点を加えて5点リードした。投げては先発東川一真が5回を1失点、市磯輝大、青山千晃、新谷雄三と好継投。大会最多タイの3度目の優勝を手にした。

初戦の2回戦では五條（関西）に初回9点を奪われながら、11―10で逆転した。吉田昌弘監督は「力はあるのですが、試合が上手じゃない。これで30試合分ぐらいの野球経験をした」。3回戦で武蔵府中を東川が完封、準々決勝では千葉市を、準決勝では前年優勝、昨秋の関東大会を制した取手を退けた。中尾隆太主将は「試合を重ねるごとに全員が成長できた大会になりました。どの試合も最後まで集中力を切らさずに戦えた。夏に向けて、油断せず、1つ1つの試合を大切に戦いたい」と話した。吉田監督は「初戦の五條戦で一気にチームがまとまった。本番に弱い選手が多かったのですが、精神的にもたくましく成長した」と選手をたたえた。

取手連覇ならずも3位

2連覇を目指した取手は準決勝で敗れ3位

2連覇を目指した取手が準決勝で「一番強いと思っている」（石崎学監督）と評価する世田谷西に2―6で敗れた。1回に2死から、四球絡みで2失点。2回には2死満塁から適時打を浴びて2失点。5回にも2点を追加された。攻撃では6回に無死満塁から押し出しで反撃開始、なおも無死満塁から1点しか奪えず、押し切られた。石崎監督は「5回までに1点も返せなかったのが痛かった。無敗できた子たちなので泣き崩れる子もいたが、負ける悲しさや悔しさを知り得たことが収穫」と話した。

2回戦で八王子に5―0から最終回に2点差に迫られ、1度左翼を守ったエース坂本慎太郎が再び登板して切り抜けた。準々決勝では札幌新琴似（北海道）をタイブレークの末に破った。高橋一真主将は「チャンスでヒットを打つ力、ピンチで守り切る力、どちらも世田谷西の力が上でした。夏に勝つためにはチームとしてもう一段階成長が必要だと感じました」と、レベルアップを目指す。

熊谷は惜しくも準々決勝で敗退

熊谷 好機作るもあと1本出ず

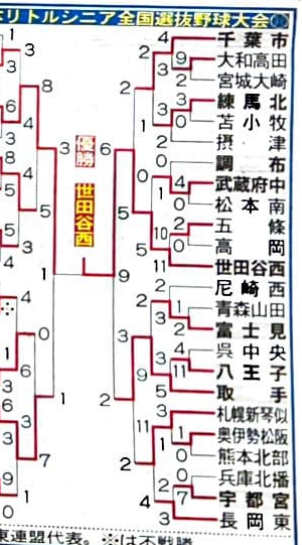
熊谷は準々決勝で豊田（東海）に屈した。1回1死二、三塁を生かせず、3回に6安打を集中されて6失点。攻撃では4回まで先頭打者を出しながら、走者を進められず、あと1本が出なかった。加藤礼紘監督は「打ち勝ってきたチームですが、全国大会では相手の投手がいいので、戦い方は変わる。どんな戦い方もできるチームにしていきたい」と総括した。2回戦浜松（南関東支部）、3回戦新津五泉村松（信越）に逆転勝ちで8強進出。冨田慧悟主将は、全員で盛り上げて、ベスト8まで来れた経験は大きい。この経験を次の大会につなげたい」と自信を得た様子だった。

千葉市反撃も収穫は投手陣

千葉市は、準々決勝で優勝した世田谷西に食い下がったものの、2―5で敗れた。初回に投手の制球が乱れて6四死球などで3失点。2番手安達太我、3番手前田一葵が相手打線を抑えただけに、1回の失点が悔やまれた。紺野真太郎主将は「初回に自分たちのミスで3点取られて流れが悪かった。2点を取り返せたが、その後はチャンスで1本が出なかった」と振り返った。2回戦大和高田（関西）、3回戦練馬北（東東京支部）を接戦で破った。加藤正次監督は「準々決勝の初回こそ乱れたが、全体を通してゲームを作れる投手が複数できたことは収穫」と話した。

千葉市は優勝した世田谷西に敗れ4強を逃した

第28回日本リトルシニア全国選抜野球大会



【注】太字が関東連盟代表。※は不戦勝